

アメリカセキユリテイ視察は、ついに最終回を迎えた。ところが、そのつもりだったが、なんと最終回にならず失礼！セキユリテイ視察第十一弾!!

では最終回二回前？「斬、耕平が斬る！」

まずは日本のカジノは？・
今回のラスベガスの事を書いていると、どうしても日本のカジノの事が気になって仕方なくなってきた。この場をお借りして、チョット触れておきたい。

し、札びらを切ってカジノを楽しむなんて出来るのだろうか？
だからこそ、カジノが狙っているのは日本人ではなく、中国人を中心とした外国人とも言われている。

話な勘ぐりか？
最近になって、横浜の「山下埠頭かお台場か？」
「下埠頭」が急激に名乗りを上げているが、個人的には、カジノだけのために来る外国人は少なく、今回のGW中も、東京スカイツリーや浅草寺などの、外国人観光客の多さと言ったら凄い人出だった。



当然、ディズニーランドにも行くだろうし、日光や京都までも足を延ばすかもしれない。その全てを考えて、「お台場が第一候補」と考える。

カジノは危険か？

カジノが出来た時のことを危惧する人の中に、「安全ではない」「危険だ」という人がいる。その根幹は何か？
ラスベガスでもマカオにでも行かれた方なら、「カジノの中は安全で守られている」と

感じたのではないだろうか？
危険なのは、確かに高額な金が動き、金持ちは春も好きと、世界中の男も女もあまり変わりない事から、売春や窃盗などの犯罪が増えてしまうことにある。

しかし、それが行われるのは「カジノの外」である。にも関わらず、カジノにこそまで責任を求めるべきか？
いずれにしろ、「カジノができる」「犯罪が増える」は、私に言わせれば至極当たり前だ。ラスベガスの犯罪について、は、今回のシリーズで何度もお知らせしたので、参照されし。

広域暴力団について

また、広域暴力団についても、彼達の資金源は、今や裏カジノである。暴力団は全く関わらないとの発言を耳にしたことがあるが、首を傾げざるを得ない。

確かに裏カジノ（非公認）
からすれば、表カジノ（公認）は目の敵かもしれない。
客層だけをとれば、パチンコファンとカジノファンは、同じギャンブル好きでも質は相当に違うと思っっている。

ただし、うちの社員を見て

いると、殆どが「イコール」なのだ。

かと言ってカジノが出来ても、P業界の売り上げが減少するとは思っていない。
日本人がカジノへ出入りする場合は入場制限についての議論も、IDカードを発行すれば済む事を、仰々しく取り上げすぎだ。

議論の内容が、なんとIDカードを偽造されるとか、パスポートが必要だとかについてだから、そんな暇があったら、もっと他の事を議論しろと言いたい。

暴力団の話に戻すと、ビッグマネーを単に指をくわえて見ているはずもない。どのように関わるかは別にして、売春に関することは間違いない。

売春の合法化

誤解を恐れず申せば、私の持論だが、売春を合法化する事を勧める。

ただし認めるのは特区内のみ。管理するのはその生活安全課。

こうすれば、暴力団の入る隙間がゼロとは言わないが、極小する事は間違いない。



エイズなどの感染症についても厚生省が管理すれば、最小限に食い止められる。
有名無実の売春禁止法等、今の日本では犯罪を生む元凶ではない。

売春に関わる犯罪

例えば美人局・・・
売春現場に強面の男が乗り込み、買春をした男を恐喝し金を巻き上げる。

ぼったくり

最初の交渉金額より、次第次第に金額を釣り上げて行き、最終的には高額な金品を巻き上げる。

まくら泥棒

客が目を離れた隙に財布を

持って逃げる。

これはより巧妙な手口として、客が風呂に入っている隙を狙い、財布から現金だけ抜き取る。しかも、金額ではなく、少額（と言っても3万円程度）を抜いたり、逆に1万円程度を残して逃げ去る。

これは、相手が盗まれたことに気づいても、取り敢えずホテル代を払ったり帰りの電車を残すことで、警察までは行かない事を計算している。

援交を盾に脅しをかける

年齢を偽り性交に及び、その一部始終を記録しておき、その後未成年者だと教え、慰謝料を出さなければ公表すると脅す。これに引っかけた芸能人が、どれほど多く、芸能生活を抹消されたことか。

どれを取っても、被害者（買春側）が、自分も罪を犯しているという後ろめたさから、警察に相談できない事で、被害を甚大にしている。

カジノ法案と共に検討を

いかがだろうか、セキュリティに身を置く者として、最も犯罪を生む、売春。について、今回のカジノ法案と共に検討



なかの こうへい
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などでの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつつ、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。

尊敬する有識者

される事を要望したい。
まとめよう。公認された表カジノの建物内は安全、一歩外へ出ると危険。
故にその部分までも国が管理するならば、先の方法が最も有効、という事だ。
ステイブが言っていた、「LVで最も安全な場所はカジノ。外を平気で歩いていると、まずは恐喝、万引き、美人局、等に会う可能性が高い」この言葉をよく理解するべきだ。そして、カジノでの犯罪を管理管轄する「ゲーミング・コントロール・ボード」の必要性も考えなければならぬ。というより考えているはずだが、私の耳には届いてこない。もう少し情報開示をしても良いのではないだろうか？

私は、大〇大のT岡先生も、カ〇ノ研究所のK曾先生も尊敬をしている。この二人の経験と研究してきた論法は私の比ではない。
お二人とも素晴らしい見識者である。ただし、当たり前だがセキユリテイでは、私以上に思っていない。これは単に、餅屋は餅屋、と言った程度の違いではないが。

ラスベガスでは

おっと!! なんとラスベガス編を書いているにもかかわらず、日本のカジノについて書いただけで紙面が尽きてしまった！日本についてもこんなものではない程にまだまだ有るのに、困ったものだ。さて、次回こそが本当の最終回を書き上げるとして、さらに、斬らせて、頂く。



記事に関するお問い合わせは A・P 総研まで Tel.03-3202-0971